

	<p>桔梗が丘自治連合協議会</p> <p>平成23年度 第9回 理事会 議事録</p>
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成24年1月28日(土) 9:30~11:50
出 席 者	出席者・辻森、大垣、梅本、河合、上田、小幡、阪本、野邊、高槻、廣岡、吉野、加納、森永、山中、松村、田合監事、谷川地域担当員、中森地域担当員。 欠席者・竹原、東監事。
議事 決議事項 1. 議事録署名人 2. 平成24年度「敬老の日の行事」の件	<p>大垣副会長が司会を務め会議が始まった。 辻森会長の開会挨拶の要旨。 平成24年の初めての理事会の開催になるが、昨年一年間の活動に感謝するとともに、本年度の残りの期間及び次年度もよろしくお願いをする。 各委員会、部会の運営上の課題、問題点が発生した場合は全員で取り組み協議していきたいと考えているので、ご協力頂きたい。</p> <p>引き続き辻森会長が議長となり審議が始まった。 本会議の議事録署名人に野邊薫氏、阪本忠士氏の2氏を指名することに決した。</p> <p>高槻健康推進部会長から、平成24年度以降の「敬老の日の行事」について、別添え資料に基き概ね次のような説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年11月、地域の自治会(区)長及び地域内の民生委員宛に実施したアンケートの集計結果の詳細な報告と説明。(別添資料記載) ・桔梗が丘地区の今後の高齢者の構成の推移予想の説明。(別添資料記載) ・6番町区長からの「敬老の日行事」についての提言。(別添資料記載) <p>以上の報告と説明に引き続き、24年度以降の行事内容について、自治連合会にて承認された案を基き本会議に提案があった。</p> <p>自治連合会で承認された行事の内容は次のとおり 「お祝い品(お菓子)」・・・70歳以上 「長寿記念品(商品券)」・・・70歳と88歳 金額は2,000円</p> <p>大垣副会長から、自治連合会の補足説明として「財源は、平成23年度の予算額175万円を基本にすると今後4年間は維持出来る。この額は協議会予算総額の三分の一になる。」「これで今後4年間の方向付けが出来るのであれば、この方向が良いとの意見が多かった。」「一年に1回見守り訪問をするのは意義あることである。」等の意見が出されたと述べた。</p>

以上の提案について出席者からは次のような意見が出された。

- ・対象年齢は人生の節目の「年齢70歳」とするのは良い、この後年々1歳ずつ繰り下げるといった移行措置も考慮すればいいのではないか。
- ・実施の際は民生委員と連携をすることは重要になると考える。(見守り訪問)
- ・今後の検討課題として、誰でも、いつでも、どこへでも、参加できる空間作りも必要。(例：いきいきサロン、農産物の販売等)
- ・地域ビジョンでも検討課題として取り上げられているので推進したい。
- ・地域の消防団員との連携した見守り事業を復活したい。

Q. 民生委員のアンケートのNO.7.8の意見について、民生委員長としてはどう考えるか。

A. 年1回見守り訪問の対象を70歳とするのは、全国的に見ても妥当であると考え。又、サロン等の会合で交流はあるが、全ての人に参加できる訳ではないので、年1回見守り訪問は意義ある活動です。

- ・対象を70歳以上全員となれば、以降毎年貰うことになるが、その必要があるだろうか。
- ・今後4年間の間に、以降のあり方を検討して行きたい。
- ・地域ビジョンの中に「お助け隊」の構想もあり、総合的に検討していくことも必要。

引き続き議長から、平成24年度以降の「敬老の日の行事」について、今後4年間は提案どおり実施することの採決を行い、全員異議無く承認可決された。

・辻森会長から、「今後4年間は自治連合会、民生委員の協力のもと実施していくことになるが、中長期的な地域の高齢者対策は、この行事に留まらず広角的に検討して行きたい」と述べた。

3. 桔梗が丘公民館・南公民館館長選任の件

辻森会長から、「現公民館長の森永憲二氏が本年度末で1期3年の任期満了となる。年末から再任の依頼をしてきたが、辞任の意思が固いため、平成24年度以降の館長を当協議会の規定により選考委員会を設置し選任することになった。

その方法は、公募、推薦ということになる。公募については2月の回覧で行う。皆さん方も推薦候補者があれば是非ご協力をお願いしたい」と述べた。

森永公民館長から、退任の理由説明と、3年間に亘る皆さんのご協力に感謝したいと述べた。

議長から、公民館長選任の手続きについて、提案どおり実施することについて採決を行い、全員異議無く承認可決された。

報告事項

1. 平成23年度協議会会計及び公民館会計累計報告(12

松村事務局次長(会計担当理事)から、平成23年度12月末現在の協議会会計累計及び公民館会計累計について、別添資料に基き概ね次のような報告があった。

<p>月末現在)</p>	<p>協議会会計は、収入の部は報償費 210,000円を計上した。これは名張市地域環境推進員に支払う分で一人7千円の30名分。</p> <p>支出の部は、総務費：事務費（郵送料）1,110円、広報費：（インターネットレンタルサーバー使用料）5,315円、健康推進費：（健康講座講師料）30,000円、住民交流費：（ニューイヤーフェスタとどんど行事）232,480円、教育文化費：（桔”ざセミナー費用）53,819円、生活安全費：（車両プラグ）720円、地域福祉費：（いきいきサロン、年末友愛訪問等）166,085円で総合計489,529円となった。</p> <p>公民館会計については、収入の部は公民館使用料、コピー使用料及び雑収入合わせて311,494円。</p> <p>支出の部は、毎月恒例の支出の以外について報告する。</p> <p>管理費：（消耗費・年末大掃除用品）12,582円、（委託手数料・吊もの点検費）217,480円、（車両費・公用車タイヤ交換）27,483円他。</p> <p>運営費：（報償費・主催講座講師料）45,000円、（事業費・主催講座費用及び公民館展用ベスト）94,686円、立替金は（公民館展用ベストの費用76,440円を事業費に振替、年末調整分1,150円を支出）従ってマイナス64,930円となった。総合計1,277,089円となった。</p>
<p>2. 委員会・部会報告</p>	<p><総務委員会></p> <p>大垣副会長（総務委員長）からは特に報告は無かった。</p> <p><企画運営委員会></p> <p>阪本企画運営委員長から、「地域ビジョン推進プロジェクトチームを昨年立ち上げ、今月は2回開催した。その中で、重点7項目の中から具体化にむけての作業として、3月末を目途に、更に中身を掘り下げ、現行の各事業部会の事業との整合・連携及び優先順位の整理をしていく方向になった。」と報告があった。</p> <p>引き続き、阪本委員長から、報告とは別に桔梗が丘地域の街路樹等を含む環境整備の姿勢について発言があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹を含む公園の緑を地区の財産として守っていかねばならないと思う。 ・自治連合協議会全体として取り上げる前提としてブロック会議等で取り上げて欲しい。 <p>出席者からの意見。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この問題については地域では勿論、行政側（名張市）を巻き込んで検討すべきと考える。 ・ 地域全体の問題として行政側に問題提起すべきではないか。 ・ 名張市は予算の関係上から十分な管理が出来ない状況にある。この点を踏まえて行政にあたる必要がある。 <p>現状の街路樹の管理について意見交換の後、議長から、「意見交換の中であった「郵便ポストの移管」は高校前にしてもらうこと、街路樹を含む環境問題につい</p>

ては改めて取り上げる事を検討することしたいと」述べ了承された。

辻森会長から、名張市では「地域ビジョン」の発表会を開催する意向があり、この発表会に参加する意思表示をしたいと考えている。

ミニコミ誌YOUから「地域ビジョン」について取材依頼があったので、受けることにしたと報告があった。

<広報委員会>

野邊広報委員長から、3月発行の「ききょう通信」が50号の節目となるので記念号とし、①名張市長からのメッセージ（例：地域のあり方）②歴代地域役員の回想録のようなものを取り挙げたいと考えている」と報告があった。皆様のご提案を歓迎するのでご協力をお願いします。

Q. 紙面を増やすことは可能ですか。

A. カラー刷りにはするが、紙面を増やすことは難しい。（了承された。）

<健康推進部会>

高槻健康推進部会長から、平成24年3月24日（土）に実施予定の「ニュースポーツ世代間交流大会」の実施要綱について、別添え資料に基き概ね次のような説明と提案があった。

1. 実施日 平成24年3月24日（土）
2. 実施内容 場所 桔梗が丘小学校グラウンド及び体育館
時間 午前9時から12時
内容 グラウンドゴルフ、クロリティ（スポーツ 輪投げ）、カラーリング
3. 参加者 2月回覧で募集（参加予定大人80人、子ども20人）
4. その他 参加賞、ホールインワン、リンガー賞を用意。
広報は2月の回覧で地域の方に告知する予定。

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長から、今月実施した2行事について別添資料に基き概ね次のように報告があった。

1. ハッピーニューイヤーききょうフェスタ

1月7日（土）10時から12時40分まで公民館講堂を中心に開催。参加者は乳幼児70名、小中学生84名、大人96名の250名。駐車場も問題なかった。

新年あたり、桔梗が丘住民の親睦を図り、住民参加、住民自身によるまちづくりを推進する意識の向上を目的に開催して、今年で8回目となり、地域に根付いた行事になってきた。大きな事故や問題も無く、特に教育文化部会との共催という形となった「科学遊び教室」は当部会の協力で連携も良くスムーズに進

行出来た。

昨年に引き続き実施した飲食の振る舞いも好評。お菓子の屋台村も子ども達に好評であった。

2. ハッピーニューイヤーききょうフェスタ（どんど焼）

こちらは1月9日（月・祝）午前7時から9時まで2番町の三角公園で開催。参加者は約300名と年々増加している。

2番町の「桔梗が丘どんど保存会」により運営されてきた行事であったが、当協議会住民交流部会の行事として3回目となり桔梗が丘全域から来られるようになった。地域の伝統行事として今後も守って行きたい。

当日は天気にも恵まれ時間の経過と共に参加者増え、振舞いの豚汁も350人が早く無くなる程好評であった。従って次年度の予算は増額したい。

<教育文化部会>

竹原教育文化部長欠席のため、山中事務局長から別添資料に基き次のように報告があった。

1. 1月7日（土）ハッピーニューイヤーききょうフェスタに協賛して、小学校高学年向けには、「牛乳パックと風船でサッカーボールを作る」低学年向けには「折り紙で遊ぼう」を開催。参加者はそれぞれ43名、93名で、ボランティア2名を含む13名で指導した。参加者には大変好評でした。
2. 1月19日（木）定例部会を開催。①ききょうフェスタの反省、②2月に実施する研修会を決定、③次年度の部会役割を決定、④次年度の行事予定を決定。
3. 次年度の事業の内「桔” ずセミナー」「ふるさと歴史ハイキング」「こころの思い発表会」「私の一冊文庫」を「平成24年度子どもゆめ基金助成金」対象事業として申請した。

<生活安全部会>

吉野生活安全部長から、1月の部会活動について別添資料に基き概ね次のような報告があった。

1. 「防災研修会」に参加：平成24年1月21日（土）午前9時から12時まで名張市役所大会議室に於いて開催された。当協議会からは辻森会長、松尾区長、橋本区長、生活安全部会から吉野、山本の2名の計5名が参加した。全体の参加者は90名で、5名1チームとなり、カードと避難所の平面図を用いて、模擬的に避難所の運営を体験する避難所運営ゲーム（HUG）を行った。実施の様子は翌日の毎日新聞に掲載され、その記事の紹介がされた。

引き続きこの研修会を通じて感じた今後の検討課題を述べた。

- ①地域内で避難所に指定された小・中・高校と連携に向けての検討会を持つ。
- ②公民館を避難所とした時、協議会としての取り組み方の検討。（公民館は177人の収容が可能）

<p>その他</p> <p>1. 平成23年度各委員会、部会の研修について</p> <p>2. 平成24年度事業計画の策定について</p> <p>3. 「子どもを守る家」タペストリーの更新について</p>	<p>③地域づくり組織としてのマニュアルづくり（地域ビジョンの中でも検討が必要）が必要である旨、森永公民館館長から提案された。</p> <p>2. 防犯パトロールの実施：12月から1月は4回実施。いずれの時も異常はなかった。次年度の課題として隊員が不足していること。（2名が辞退を申し出ている。）募集にご協力を願いたいと述べた。</p> <p><快適環境部会> 加納快適環境部会長から、1月8日（日）に「野鳥を見るバードウォッチング」10号公園と西徳明池を中心に開催した。参加者は約50名と報告があった。</p> <p><地域福祉部会> 梅本快適環境部会長から、「毎月1回開催している「赤ちゃんちびっ子広場」で使用している備品が老朽化したので、次年度の予算を増額いただきたいと考えている。」「災害時要援護者シートの作成を各自治会長・区長と民生委員とが作業を始めているが、その他、災害時に備えた課題等を話し合う場を持ちたいと考えている」と述べた。</p> <p>大垣副会長から、「災害時要援護者シート」の作成は、前回の自治連合会で各代表者の方に地区の民生委員と連携して作成し、公民館で集約する。保管については公民館で専用保管庫を設置し施錠保管することにする。」と報告があった。</p> <p>辻森会長から、「現在各委員会、部会が色々活動されているが、本年度の研修についていまだ少し幅広く考えていただき、研修費予算を有効に活用いただきたいと考えている。例えば日頃の話し合いの費用等々です。」と述べた。</p> <p>大垣副会長からも同様の発言があり、有効活用していただきたい旨を述べた。</p> <p>山中事務局長から、「平成24年度事業計画の策定を2月半ば目途に作成していただきたいと」述べた。</p> <p>この提案について、平成24年度は役員改選や地域ビジョンとの兼ね合いもあり、これらの状況を踏まえて、次年度の事業計画は2月末までに各委員会・部会で作成することになった。</p> <p>「策定、承認された「地域ビジョン」の配布を受けて次年度の事業計画を策定する委員会、地区等があると考えるので、考慮願いたい」との意見があり、了承された。</p> <p>辻森会長から、現在名張市教育委員会から、地域の有志の方からお願いしている「子どもを守る家」タペストリーを更新することになり、先日開催の自治連合会で調査を依頼したと報告があった。更新の配付は2月末になる。</p>
--	---

4. 滋賀県東近江市南部地区まちづくり協議会の視察受け入れについて

辻森会長から、2月18日（土）午前10時から1時間半、滋賀県東近江市南部地区まちづくり協議会が視察に訪れることになった。先方の目的は次のとおり。

- 1) 地域一体化活動の組織作りについて
- 2) 理事会の各理事の役割と待遇について
- 3) 桔梗が丘自治連合協議会の現在の活動内容。

当協議会の対応は会長、副会長2名、公民館長、事務局長、事務局次長が行うことにすると報告があった。関心のある方はご出席いただきたい。

辻森会長から、「消防団の団員募集を自治会長・区長にお願いしているが、出席の理事各位もその重要性は十分理解されていると思いますので協力いただきたい」と述べた。

以上で議事は終了した。

次回理事会は、平成24年2月25日（土）

時 間 午前9時30分より

場 所 桔梗が丘公民館 202号室

議 長

辻森保蔵 

議事録署名人

野連 寛 

議事録署名人

阪本 忠士 

	副会長	副会長	総務委員長	書記
				